災害から命を守るのは まず、あなた自身です

【ハザードマップとは】

豊田市洪水ハザードマップは、大雨による被害から皆さんが避難する際の参考となる情報をまとめたものです。このマップには、矢作川をはじめとした市内の主要な河川が大雨により氾濫した場合に浸水が想定される区域や深さ、土砂災害の危険箇所、避難場所などを表示しています。

1 災害リスクを知ろう

まずは、自分の住んでいる地域の災害リスク（被害想定）を把握しましょう。

河川の氾濫によって予想される浸水の範囲と深さのほか、指定緊急避難場所などの情報が記載されています。
想定最大規模降雨（1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨*）での被害想定になります。

1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨*：1,000年毎に1回発生する周期的な大雨ではなく、1年間という期間でみた場合、毎年1/1,000（0.1%）程度の確率で発生する規模の大雨のことです。発生率は低いですが、今年や来年に発生する可能性もあります。何より、ひとたび発生すると猛烈な大雨となるため、いざという時に命を守る行動をとれるように日頃から十分な備えが必要です。

詳しくはこちらのWebで・・・

洪水ハザードマップに関する様々な情報をまとめています。

- ●洪水ハザードマップデータ（PDF）
- ●とよたiマップ（防災マップ）*
- ●河川氾濫等の解析条件
- ●リアルタイム防災情報　など

とよたiマップ（防災マップ）*：Web上の地図に様々な災害リスクを重ねて表示できる地図情報サービスです。自由に拡大・縮小ができるため、自宅付近の災害リスクをより詳細に確認することができます。